

事 務 連 絡

平成29年 7 月12日

〔 福岡県 〕
〔 大分県 〕 消防防災主管部（局） 御中

消防庁救急企画室

避難生活を過ごされる方々の深部静脈血栓症／肺塞栓症
（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防について

別添のとおり、厚生労働省健康局健康課保健指導室から、避難生活を過ごされる方々の深部静脈血栓症／肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防についての事務連絡が発出されました。

つきましては、避難所等で避難生活を送られている方に対して、当該事務連絡中の「エコノミークラス症候群の予防のために」を参照に、いわゆるエコノミークラス症候群に対する注意喚起と予防方法について積極的に情報提供を行う必要があることから、貴県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合を含む。）に対して、この旨を速やかに周知いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

消防庁救急企画室

森川救急専門官、石井係長

TEL 03-5253-7529（直通）

事務連絡
平成29年7月10日

〔 福岡県 大分県 〕 地域保健主管部（局）担当課 御中

厚生労働省健康局健康課保健指導室

避難生活を過ごされる方々の深部静脈血栓症／肺塞栓症
（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防について

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号で被災され、避難生活を送られている被災者の健康管理について、発災直後から諸般御尽力いただいていることに、感謝申し上げます。

避難生活が長期化する中、避難所等で生活される被災者の健康を守るための対策が、より一層重要となってきます。

特に、食事や水分を十分にとらない状態で、車などの狭い座席に長時間座っているなどして、足を動かさないと、血行不良が起こり、いわゆるエコノミークラス症候群が発症するリスクが高まるおそれがあります。

つきましては、避難所の運営や運営の支援に携わる場合や避難所等を巡回し健康管理等の業務に携わる場合は、別添の「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」を避難者等に配布し歩行や水分補給等を勧めるなど、エコノミークラス症候群に対する注意喚起とその予防方法について支援をお願いします。

問い合わせ先

厚生労働省健康局健康課

保健指導室 右田、村松

TEL : 03-3595-1111（内線2391、2398）
03-3595-2190

F A X : 03-3502-3099

E-mail : 3hoken@mhlw.go.jp

エコミークラス症候群の予防のために

○ エコミークラス症候群とは

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れがあります。

○ 予防のために心掛けると良いこと

予防のためには、

- ① ときどき、軽い体操やストレッチ運動を行う
 - ② 十分にこまめに水分を取る
 - ③ アルコールを控える。できれば禁煙する
 - ④ ゆったりとした服装をし、ベルトをきつく締めない
 - ⑤ かかとの上げ下ろし運動をしたりふくらはぎを軽くもんだりする
 - ⑥ 眠るときは足をあげる
- などを行いましょう。

○ 予防のための足の運動

